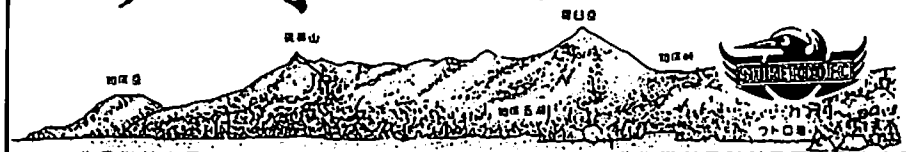
平成６年４月　第３０号

知床の森から



北見営林支局
知床森林センター
〒 099-41　北海道斜里郡斜里町本町１１番地
☎ 01522-3-3009　FAX 01522-3-3160

こんな近くに大木が…　／残念　きまぐれ流氷
沖合はるかに！／

ウオッチング 最適環境で

第２１回「森林レクリエーション・ｉｎ知床」『歩くスキー早春の知床ウオッチング』は、３月１６日（水）・１７日（木）の両日、遠音別岳山麓がオホーツク海の断崖で終る台地の森林で実施しました。

今回のイベント参加者は２日間で５０名、北見市を中心とする近隣の方々でした。年齢は４２才から８０才で男女相半ばする構成でした。

イベントコースはオシンコシンの滝手前からウトロに向う旧道で森の中を蛇行しています。いまは一般に利用されない道路ですが、知床ウオッチングには最適です。紹介ポイントは１５カ所、シジュウカラ・クマゲラの声、エゾシカ・クロテン・キタキツネやタヌキの足跡も見られ、事実この一帯は環境庁の鳥獣保護区に指定されており、森には北見営林支局の遺伝子保存林があります。

紹介ポイントは森林・樹木・動物・鳥類・岩山・小沼などバラエティに富みます。中でも胸高直径が７０㎝を超えるいろんな樹木が何本かあり、圧巻は胸高直径１３８㎝のオヒョウニレの巨木です。海岸線をはしる国道から１００ｍも離れていない崖上台地に、いまではめったにお目にかかれない大木が存在することは驚きです。

緩やかなコースとはいえ転びもすれば汗もかきます。昼のトン汁はほてった体においしく、お相伴にあずかったキタキツネも愛嬌を振りまいていました。

「この道をなあ　むかしみんな苦労して通ったもんだ…夏はこの道、冬は海岸の流氷渡りをして…」と参加したおじいさんのとつとつと語るむかし話しが胸を打ちました。

スキーを風いての行程５㎞あまり、ぜひ見てほしかった流氷が遥か沖合に去っていたのが残念でしたが、帰りのバスからエゾシカの群れや飛翔するオオワシが見られ、今回の早春の知床ウオッチングに参加者のみなさん満足げでした。

※ 知床はいま… ※

４月に入り寒暖を織りまぜながらも知床の自然は急速に春の気配が見られます。キンクロハジロ・ウミウガオオワシ・オジロワシの消えたオホーツクの海に見られます。雪解けの進む森林ではエゾエンゴサクやナニワズが咲き、コガラ・シジュウカラ・トラツグミの鳴き声が活発です。葉開きの早い広葉樹の枝先も微かに色つき、国道沿いを賑わしたエゾシカたちもいまは国有林で多く見かけます。

ナニワズ

◎ 6年度センター業務計画 ◎

知床森林センターの平成６年度の業務計画が決まりました。

○開発・調査　ミズナラ堅果結実調査ほか４調査

○普及業務　森林教室の実施ほか地元行事参加や広報活動など。なお森林教室は「レクリエーション　in 知床」年４回、「森とのふれあい」を年２回計画しています。

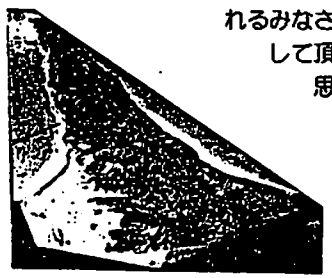
○レクリエーション業務
知床野営場施設や標識類の整備・山火事予防をはじめとする巡視などです。

☆ 知床半島の立体模型完成 ☆

知床森林センターを訪れた方々に、知床半島が一目で分かるようにと作成にかかったカラー立体模型がついに完成しました。

北見・帯広両営林支局管内ともに最終のチエックと化粧を終え、いま展示室で輝いています

この模型はすべてセンター職員の手作りのため時間がかかりましたが、これでセンターを訪れるみなさんにも満足して頂けることと思います。



§ その他の情報 §

●道々知床公園線
４月２６日開通しました。知床五湖までの舗装道路です。

●国道３３４号線知床横断道路
４月２８日開通しました。午前１０時から午後３時３０分までの時間規制が実施されます。

●観光船
４月２５日運航を開始しました。

●流氷
斜里の沖合遠くにまだとどまっています

●知床野営場
今年の国設野営場は６月２５日から開場し、９月２６日をもって終ります。

人事異動がありました

大崎幸雄　本年３月３１日をもって定年退職いたしました。センター設立以来活躍して頂きました。ご苦労さまでした。

中川庄次郎　４月１日付でセンター所長補佐として着任しました。

今後のご支援をお願いいたします。